

第 7 1 回 福島県発明展

受賞作品一覧

(敬称略)






No.	受賞名	作 品	出品者	作品概要
1	福島県知事賞	湖岸有機物回収除去装置	郡山市 中村 玄正	<p>今まで湖岸の水中に浮遊、波打際に漂着した水草等の有機物を除去する作業は、大勢の人の手によって、熊手やレーキを使用してコンテナに運ぶ作業を行っていた。</p> <p>本作品は、ハンドル部の間にセットされているトリカルネットによって、有機物回収の際に、一緒にすくってしまう土砂をふるいにかけて分離する事ができる。また、車輪を利用する事で、コンテナへの運搬作業の負担を軽減する事ができる。</p>
				
2	福島県知事賞	すぐに取りれるトイレットペーパー	いわき市立 三和中学校 3年 加藤 羽夏	<p>トイレットペーパーを使用した時に、次の人の為にペーパーを折るが、折らなくてもすぐに次の人が使えるようにしたいと考えて作製した。</p> <p>上のペーパーをカットする部分に三角形のプラスチックが付いており、通常通りカットすると、ペーパーが取り出しやすい形で残っている。</p> <p>何度も試した結果、三角形のプラスチック部分は、幅3cm、出る部分1cmが一番最適な寸法だった。</p>
				
3	福島県知事賞	らくらく！排水パイプ	川俣町立 川俣小学校 4年 黒澤 歩朱	<p>祖母が大きなたらいで野菜を洗った後、大量の重い水を捨てるのに苦労しているのを見て助けてあげたいと思い作製した。</p> <p>たらいを傾けて持ち上げて水を捨てるのではなく、サイフォンの原理を使って水を捨てられるようにした。菅の材料集めには苦労した。伸縮性のある管を取り付けたので、深さのあるたらいにもある程度対応できる。</p>
				
4	東北経済産業局長賞	傘立てならず傘がけ	福島県立 聴覚支援学校 3年 樋口 尋	<p>家の玄関傘立てに、傘以外のものが入っていて傘を入れるスペースがなかった為、新しく傘がけを作った。</p> <p>置きやすく、取りやすくなりたいと思い、傘をかけられるようにした。狭い玄関でも置けるようにコンパクトにし、分解と組立がしやすい様にネジ式にした。傘をかける時に受け皿からはみ出る為、水滴が受け皿に落ちるように、傘の揺れ防止の横棒を取り付けた。</p>
				
5	一般社団法人 福島県発明協会会長賞	いちご専用包装箱	福島市 株式会社福良梱包	<p>従来のいちご包装箱は、段積みした際安定性が悪いので、段積みして輸送する際には、紐状の連結具等で連結・固定する。輸送後、販売時には連結具を解かなければならず、取外しの手間があった。更に、箱上面が開口されている為、いちごが傷みやすいという問題があった。</p> <p>本製品は、一枚の段ボール紙を折って作った包装箱とフタをセットにした構造。うさぎの顔を箱の前後面にデザインし、うさぎの耳にあたる二つの突起を付けることにより段積み時にストッパーの役割を果たし、また突起部にフタをセットする事ができる。これにより「段積み時の安定性向上」「いちごの痛み防止」「フタつきの状態で個別販売」等が可能になる。</p>
				

No.	受賞名	作 品	出品者	作品概要
6	一般社団法人 福島県発明協会会長賞	熱中症警告ライト	二本松市立 二本松第一中学校 3 年 嶋原 来仁	<p>今年はとても暑く、熱中症のニュースをよく見かけた。身近にある温度計のマークは近づかないとよく見えない。そこで、ライトならば遠くでも見やすく、体育館や大きなホールでも使えろと考えた。スイッチを入れると現在の温度が液晶部に表示されライトが点灯。</p> <p>「青色」は「安全」、「黄色」は「注意(25.1℃以上)」、「赤色」は「警告(28℃以上)」、「赤色+ブザー3回」は「危険(31℃以上)」で知らせるよう、プログラミングで制御されている。</p>
				
7	一般社団法人 福島県発明協会会長賞	だれでもかんたんお米とぎ器	南相馬市立 原町第三小学校 4 年 境原 綾寧	<p>お手伝いでお米を研ぐとき、お米がこぼれてしまうため、誰でも簡単にお米を研げるように作製した。フィルターをつけ、お米がこぼれないように、水が捨てやすいように工夫をした。</p> <p>お米を入れて注ぎ口から水を入れ、注ぎ口を手で押さえながら振ることによって、簡単にお米を研ぐことができる。振りやすいよう、持ちやすいサイズの容器を探して使用した。</p>
				
8	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 福島再生可能 エネルギー研究所長賞	会津の伝統工芸玩具赤べこ プラモデル化商品 (べこぶら®べこちる)	会津若松市 古川プラスチック 古川 孝治 古川 孝一 古川 孝貴	<p>会津の伝統工芸玩具「赤べこ」は元々張り子で作られており、職人の手によって、いくつもの工程を重ね製作される。よって生産数も限られ、販売価格も高くなってしまふ。</p> <p>そこで当社の技術・設備により伝統工芸玩具初となるプラモデル化。商品単価を抑え手に取りやすく、組立式にする事により伝統工芸玩具に気軽に触れ合う事ができる。また絵付けをする事で、世界で一つの物が完成する。既存の張り子と差別化しつつも伝統工芸品と向き合える製品となっている。</p>
				
9	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 福島再生可能 エネルギー研究所長賞	声と光で知らせる熱中症警戒アラート君 (猛暑日、真夏日以上は自動で 扇風機や小型冷風機も動くぞ〜)	福島県立 石川支援学校 2年 廣田 和仁 2年 生田目 陽	<p>毎年、気温が上昇しており、特に8月からは 35度越えの猛暑日が続き、熱中症で病院に搬送されるケースが多いとニュースになっているのを観た。少しでも熱中症対策に役立つ物ができないかと思い、クラスの仲間と話をしたり先生に相談し、本作品を考えた。</p> <p>回路の仕組みを勉強し取り入れ、温度センサにより温度を読み取り、値ごとに3つに分けて、それぞれの温度に合わせた音声発生、LED表示をするようになっている。</p> <p>30度、35度以上と判断すると熱中症警戒の音声流れ、更に小型扇風機が自動で動くように設定されている。</p>
				
10	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 福島再生可能 エネルギー研究所長賞	水没注意し手	白河市立 白河第二小学校 4 年 荒井 律香	<p>アンダーパスで水没した車を見て、水が溜まった所に入らないようにしたいと考えた。</p> <p>雨が少しの時には容器に水が溜まらず、短時間の大雨の時にだけ水が溜まるようになっており、その水が容器同士をつないでいるホースを通ってもう片方の容器(上部に手袋が取り付けられてある)に入っている発泡入浴剤を溶かす。入浴剤から出た気泡が手袋を膨らませる。この構造を実際のアンダーパスで利用することにより、水没した道路の前で冠水の危険を知らせてくれる。</p>
				

No.	受賞名	作 品	出品者	作品概要
11	福島県教育委員会 教育長賞	クッションステッキアタッチメント	福島市立 清水中学校 1年 佐藤 生実	ある日、歩道橋で松葉杖を使って階段を登ろうとしている人を見かけた。段差のせいで杖の長さが体に合わなくなり、とても上りにくそうだった。エレベーターのないアパート等で上の階に住んでいる人だったら、もっと大変だろうと思った。そこで「杖にサスペンションが付いたら段差でも上りやすくなるのでは」と考え、この発明を思いついた。 この作品は、どんな杖にも取り付けられる事ができ、サスペンションが付いているので、段差での衝撃を軽減してくれる。
				
12	福島県教育委員会 教育長賞	お年寄り用2WAYキャリーバッグ	福島市立 御山小学校 6年 酒井 ひなた	体力が衰えて自転車で買い物に行けなくなった祖母の為、徒歩でも買い物が楽にできて、暑い夏でも熱中症や大雨の対策ができるものを作ろうと思った。 すぐに物が取り出せるように、巻物状の収納、キャリーバッグとリュックの2WAY使い、緊急連絡先や飲んでいる薬が分かる様に名札を取り付けた。買った物がいたまなないように、保冷効果のある入れ物になっている。
				
13	公益社団法人 発明協会会長奨励賞	手紙の重さを測れるマシン	学校法人 いわき秀英学園 いわき秀英小学校 4年 上野 千乃	郵便物の送料が50g以下だと140円なので、50g以下とすぐ分かるよう、天秤を使用して、送料がすぐに分かる物を作りたいと考えた。基準となる50gについては、1円玉が1gなので50g分の50枚を利用し天秤に取り付け、もう片方に量りたい手紙をはさむことで、すぐに送料が分かるように工夫した。
				
14	日本弁理士会 会長奨励賞	おしゃれなペットボトルのふた	いわき市立 久之浜中学校 3年 矢部 愛佳	お年寄りや小さい子供が、ペットボトルのふたを開けられずに困っていた時に、時々手伝って開けてあげていたので、思いつき作製した。日本色を出したいと思い、桜の模様などの形や、摩擦力を高める形などを考え、それぞれ開けやすい形に工夫した。
				
15	福島県工業クラブ 会長賞	Beco	会津若松市 佐原 健司	1000年以上の歴史がある下駄は非常に高い完成度の為、長く形を変えることなく残っている。しかし着物を着用し、歩幅を小さく(狭く)歩く動作に合わせて作られている履物なので、現代の服装での大股で歩幅を大きく歩く動作には適応せず、つま先が路面に当たり削れてしまい、耐久性が落ちてしまうという問題があった。本作品はつま先部にRとゴムが付いており、大股で歩いてもつま先を路面に擦る事なく、スムーズな荷重移動ができ、自然と足が前に出る様な構造となっている。
				

No.	受賞名	作 品	出品者	作品概要
16	公益財団法人 福島県産業振興 センター理事長賞	つまづき防止訓練用スリッパ	二本松市 鹿糠 國光	高齢になると、ほんの少しの段差でつまづく時がある。 足首や太もも前側の筋力が衰えることにより、足が十分に上がらなくなる事が原因となっている。 本作品を履いて、普通に部屋を歩くだけで、自然に足を上げて筋力低下を防げる。
				
17	公益財団法人 福島県産業振興 センター理事長賞	PUSH CAR	学校法人温知会 仁愛高等学校 3年 飯貝 成海	通常のシルバーカーは、ブレーキをかける際に手の力を必要とする。認知機能が低下している高齢者や、腕の筋力が低下している人に対し、簡単にブレーキをかけられる方法はないかと考え、この作品を発案した。 本作品は、荷重で操作ができ、荷重をかけることによりブレーキが解除され、荷重をかけないようにするとブレーキがロックされる仕組みになっている。これにより、ブレーキのかけ忘れによる転倒リスクも防止できる。
				
18	公益財団法人 福島県産業振興 センター理事長賞	仲良く半分にできるまな板	喜多方市立 塩川小学校 5年 真渡 斗優	兄弟で料理を半分に分ける時に、どこで切るか迷うため、この作品を考えた。 両はしの同じ数値のところに合わせてから切ると、真ん中で切る事ができる。
				
19	日刊工業新聞 社長賞	洗濯物連結くん	郡山市 小川 結愛	洗濯物干しスペースが限られていた時、省スペースで効率的に、一枚でも多くの洗濯物を干すことができれば良いと思い、本作品を考えた。 タオル等の洗濯物の下側に本作品を取り付けることにより、更に下にもう一つ洗濯物を干す事ができるようになり、省スペースで2倍量の洗濯物を干すことができる。
				
20	毎日新聞社賞	膨らむPILLOW	南相馬市立 原町第三小学校 6年 白瀬 乃々佳	祖父が、ベッドから大変そうに起き上がるのを見て考えた。 エアーマットとまくらを貼り付けたので、起き上がる時に空気を入れると、首と肩が浮き上がり、起き上がりやすくなる。また、電動空気入れを使っているの、スイッチを押すだけで空気が入っている。起きやすくなれば、最後は自分の力で起き上がれてリハビリにもなる。
				

No.	受賞名	作 品	出品者	作品概要
21	福島民報社長賞	背中ボード	学校法人 いわき秀英学園 いわき秀英小学校 1年 角田 真生	母が、背中を揉んでももらいたい時や搔いてもらいたい時に、手が届かず困っているのを見て、しっかりその場所を教えてもらうために考えた。何度も使えるように、また、揉んでいるうちに場所が変わってもすぐに知らせることができるように工夫した。
				
22	福島民友新聞社長賞	プレーキ付き キッチンペーパースタンド	相馬市立 磯部小学校 4年 村岡 葵斗	料理をする時や手を洗った後に、よくキッチンペーパーを使う。ぬれた手で取ろうとすると、使わない方までぬれてしまうので、僕も家族も困っていた。そこで、みんなが便利に使える方法はないか考えた。キッチンペーパーの使いたい部分を引き出し、スタンドの上部を押す事で、ブレーキがかかりストッパーとなる。ぬれた手でさわることなく、使いたい分を切りとることができる。
				
23	ラジオ福島社長賞	モチモチ持ち手	相馬市立 桜丘小学校 6年 菊池 充	家族と買い物に行くと、大量の飲料を買うので、マイカゴがバンバンになる。車に運ぶまでにカゴの持ち手が手に食い込んで痛いと言っていたので、持つ所をモチモチにしたらどうかと思った。また、マイバッグやスーパーの袋も手に食い込むので、肩掛けにできたら楽になるかと思い、金具をつけてショルダーストラップ等が付けられるように工夫した。
				
24	ふくしまFM社長賞	ひいおばあちゃんの 脳トレ・指トレ	川俣町立 川俣小学校 5年 齋藤 紅音	98歳のひいおばあちゃんが、いつまでも元気で色々なことができると思い、脳や指のトレーニングが手軽にできるように、身近な廃品を使い、脳トレ・指トレができるものを作製した。ペットボトルの開け閉め、両手でボタン掛け、うずまき線描きなど、ひいおばあちゃんの体調に合わせて、声がけしながら一緒にできるので家族内でコミュニケーションもとれる。
				
25	福島テレビ社長賞	便利なチリトリ	喜多方市立 高郷小学校 6年 栗田 侑人	掃除のとき、腰を曲げたり伸ばしたり、チリトリでごみをとる時に苦労した。そこで、チリトリの持ち手を伸ばしたり、縮めたりできるようにする事で、楽にごみをとれるように工夫した。また、ほうきのごみ取りもチリトリの奥側に取り付けた。
				

No.	受賞名	作 品	出品者	作品概要
26	福島中央テレビ 社長賞	らくピタマジック	南相馬市立 原町第三小学校 6年 今野 有栖	おばあちゃんが介護を受けていて、パジャマのボタンを留めるのが大変だと言っていた。私が手をケガした時も、ボタンのある服を着るのが大変だったので、お年寄りや体の不自由な人も、もっと簡単に着替えができればと思いこの発明を思いついた。 服のボタンをそのまま使い、ボタン側とボタンホール側に本作品を取り付けることで、簡単にマジックテープの服に早変わり。付いているループ紐に指をかける事で、少ない力で服の開閉をすることができる。
				
27	福島放送社長賞	照明ヘアゴム	学校法人 いわき秀英学園 いわき秀英中学校 1年 前田 菜里	いつも身に着けているものを他の事に活かせたらと思い、暗い所で光るものを作った。 ヘアゴムにすることで、いつも髪の毛を結んだり、腕に着けることで、外が暗くなくても、車や自転車の人達に存在を知らせる事ができて安全。
				
28	テレビユー福島 社長賞	串刺し食材食べやす装置	いわき市立 三和中学校 2年 宗像 大途	串に刺してある焼き鳥や団子など、先端に付いているものはすぐに食べられるが、串の下にいくにつれて食べにくくなっていく。そこで最後までしっかり食べやすくなるように、この作品を考えた。 作品を串の下から取り付け、先端側から食べるごとに、この装置を串の上側へスライドさせる。下の食べづらかった食べ物を上に押し出していき、食べやすい状態にする。串の先端でのケガも防げる。プラスチックなので、洗って繰り返し使うことができる。
				
29	奨励賞	sainiyouno神様	天栄村 金森 千加子	看護師、介護支援専門員の経験から、健康診断等で使用する検尿コップの「使いづらい、手が汚れてしまう」等、現場での女性の悩みの声から考えた。 本作品は、ひだを広げて採尿しやすくしてあるが、去年の作品を改良し、一ヶ所のみだったひだを前と後ろに付けることにより、より採尿しやすくなる様に工夫がされている。
				
30	奨励賞	転落防止！！ 最強マット&スリッパ	福島市立 福島第二小学校 6年 井上 美陽	前に、おばあちゃんが階段で滑ってしまい、腰とおしりをケガしてしまった。それを予防することはできないかと考え作製した。 理科で習ったことを活かし、階段の手前に置いたマットをふむと針金が電池に当たり、光るようになっている。光る事で「ここから先は階段だよ。気を付けてね。」と知らせてくれる。
				

No.	受賞名	作 品	出品者	作品概要
31	奨励賞	キレイにたためる雨カップ	会津若松市 立川南小学校 5年 荒井 心湖	カップを使った時、元通りに畳めなくて、袋にきれいに 入れることができなかったの、この作品を考えた。 畳む時の折り目と畳む順番が分かれば元通りにできると 思い、折り紙のように折り目の線を入れた。それだけで は分かりづらかったので、畳む時の付く面同士を色分け した。色の順番は、カップを畳むのは雨上がりなので、 虹が出るかなと思い、虹の色と同じ赤から紫にした。
				
32	奨励賞	水道シャワー	郡山市立 大成小学校 5年 真部 野乃風	外でケガをした時洗い流すのに、外の水道はストレート で洗うと痛いので、シャワーにしたいと思い作った。 蛇口に作品をかけて、いつも通り水を出すだけで、簡単 にシャワーにする事ができる。
				
33	奨励賞	スマホ距離とりめがね	学校法人 いわき秀英学園 いわき秀英小学校 1年 鯨岡 万尋	スマホを近くで見すぎること視力が落ちてしまうた め、この作品を考えた。 このめがねをかけることで、スマホから 30cmの距離を意識することができるようになる。慣 れたら、このめがねを外していても、自然に30cmの 距離を置いてスマホを見ることができるようになる。
				
34	奨励賞	メダカうつし機	白河市立 白河第四小学校 6年 田家 優里乃	メダカを飼っている容器を洗う時、メダカを別容器に移 さなくてはならない。いつも一匹ずつ移していき、時間が かかったり、稚魚に気付かず水と一緒に流してしまうこ とが多かった。その問題を解決するためにこの作品を発 明した。 半分カットされたペットボトル側から、メダカが入 った水をそのまま入れる。次にネットが付いた排水口側 にゆっくり傾けていく。するとメダカと稚魚はネットに入 り、汚れた水だけを捨てる事ができる。
				

学校賞

賞名	発明奨励賞
学校名	いわき市立三和中学校
学校名	川俣町立川俣小学校
賞名	青少年発明奨励賞
学校名	いわき市立三和中学校
学校名	川俣町立川俣小学校